

里親学生支援室だより NO. 31

発行日: 2026/4/30 発行元: 里親学生支援室



2026/3/17 (火) 日帰り

甲賀市・湖南市方面での宿泊研修(日帰り)を実施しました!

「甲賀市・湖南市方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月17日(火)に日帰りで春期休暇期間を利用して、NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターと協同で宿泊研修を実施しました。今回は日帰りで研修となりましたが、本学学生14名(医学生12名、看護学生2名)と滋賀県立大学から4名の参加もあり総勢18名での研修となりました。

紫香楽病院

真田院長から病院の歴史を含む概要をご説明いただきました。真田先生ご自身が衝撃を受けられた重症心身障害児(者)医療について、医療関係者となる学生には一度は必ずその様子を見学してほしいとお話いただき、病棟の看護部長さんからは、病棟での看護の様子をお話いただきました。最後に、病院内を見学させていただき、病棟や外来だけでなく、療育指導室のスイスレンなどを体験させていただきました。



患者のわずかな変化が急変に繋がることもあるので、それを見逃さないようにすることが重要だと話されていたのが印象に残った。普段から患者さんに深く関わり、様子を知らせておくことがケアに大切なのだと感じた。 医学科 第1学年

患者さんによっては、非日常にも日常にもなり得る病院という場所で、医師としてどのような医療が提供できるのか、今後も考え続けていきたいと思う。 医学科 第1学年

今回の見学を通して、一般病棟とは異なる、生活に寄り添う看護の大切さを学ぶことができた。 人間看護学部 第1学年

「滋賀県での研修を通じ、重度心身障害者福祉の先進的な体制に触れ、地域全体で生命を支えることの重みを実感した。 人間看護学部 第1学年

水口病院

與那城看護部長から水口病院の概要についてご説明をいただき、年々患者が増加しているが、医師や看護師だけでなく多職種チーム医療で立ち向かい、急性期病院とは違った自立性の支援・回復を促す医療の提供をおこなっていると話しいたされました。その後、病院見学を行っていただきました。最後に青木院長からご挨拶があり、学生からの質問にも丁寧にご答えいただき、経営の哲学についてもお話しいたされました。



どこか閉鎖的や印象があった精神科病院が、実際には明るくて開放的であった様子が印象に残っています。とても濃密な時間を過ごせましたが、新しい刺激を受けてまだまだ学び足りないのでもうしっかりと時間を持って再び伺ってみたいと思います。 医学科 第2学年

医療と福祉の連携や地域でのNPO活動に関心がある私にとって、SSTや就労支援といった言葉は耳に馴染みのあるものですが、医療の現場で実際に用いられているのを聞いたのは初めてでした。医療と福祉が密接に繋がりがりながら支援が行われていることを実感した。 医学科 第3学年

信楽地域散策

今回は信楽で有名な信楽焼の絵付け体験を行いました。皆さん、それぞれが真剣に絵付けされていたのが印象的でした。続いて、遥か1200年以上前の奈良時代ごろ、聖武天皇が首都である紫香楽宮造営した「紫香楽宮」の跡地(史跡紫香楽宮跡)を見学しました。



1番驚いたのはスイスレン室というものがあつたことです。調べてみるとオランダ語の「クンクン匂いを嗅ぐ」、「うとうとする」という言葉を組み合わせた造語だそうです。1970年代にオランダの障害者施設で考案され、ヨーロッパをはじめ全世界に広がりました。病院の中にちょっと不思議な空間があつて非日常を味わっているようでした。 医学科 第1学年

こうせい駅前診療所

しが医療生協理事・湖南甲賀支部長の立入様より「健康づくりをつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる」の取り組みについてお話しいただきました。医療生協の取り組みについて理解してもらいたい、行政と一緒にやっていくことが大事と学生へ伝えていただきました。続いて、佐々木所長から施設の概要についてご説明をいただき、気候変動が今後どのように命に直結するのか講義いただきました。

院長先生に直接質問する機会も設けられており、現場の考えや実情に触れることができた点も非常に有益でした。 医学科 第1学年



医療福祉生協の仕組みや環境と医療の関係について学び、視野が広がりました。 医学科 第3学年

地域の住民の方々がどのような医療を必要としているのかを知るとともに、農繁期などの時期によっては病院を受診しにくいという地域特有の事情があることが印象的でした。 医学科 第2学年

気候変動については、自分たちが今からできることもあると思うので、少しずつ学んでいきたい。 医学科 第1学年

患者さんと医療者が顔見知りの関係で、患者と一医療者としての関係のみならず、地域住民同士としての繋がりも感じられ、地域に根差した医療を実践されていることを実感しました。 看護学科 第3学年

地球の環境を整えることが人間の生活環境や経済状態を整えることに繋がり、最終的には人間の健康を作っていくのだと学んだ。 医学科 第1学年

信楽中央病院

北川院長から信楽地域の歴史を含めご紹介いただき、病院の概要について説明を受けました。その後、朝宮診療所へご案内いただき、朝宮診療所の在り方についてご説明いただきました。また、最後に朝宮地域で有名な朝宮茶を造られている藤田園にて朝宮茶の説明を社長からご説明いただき、珍しい碾り茶器でお茶を淹れていただきました。



今回見学した甲賀市は病院数が少なく、またその病院でできることが限られていたが、限られた医療資源を最大限活用して可能な限り医療ニーズに対応し、対応しきれない分は市外の病院と連携して対応しており、改めて医療機関同士の連携の重要性を感じました。 看護学科 第3学年

陶芸体験や特産品のお茶を飲む体験など、医療だけではなく、その地域の文化に触れる内容も充実しており、楽しみながら対象の地域を学ぶことのできるプログラムでした。 人間看護学部 第3学年



地域医療の現状や他業種連携の重要性など実際の現場でしか分からないことをたくさん知るきっかけにもなりとても貴重な経験でした。 人間看護学部 第1学年



2班に分かれて研修

里親学生支援のホームページ

(<https://www.shiga-med.ac.jp/~satooya/>)をご覧ください!

研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています!!